

地域公共交通計画の事業実施状況と評価について

令和8年6月18日（木）

三重県東員町 政策課

主な事業実施状況と評価①

【基本目標1-3】持続可能な仕組みの構築／【基本目標3-1】オレンジバスの再編

- ・オレンジバスの運賃収入は令和6年度と比較し5万円減少(0.4%減)。収支率は1.6%改善し、17.2%で目標達成。
- ・オレンジバスの乗車人員は令和6年度と比較し458人増加(0.6%増)
- ・利用者数増、収入減の要因としては、おでかけ元気パス利用者数の増加が考えられる。
- ・減価償却が終了して運行委託料が減ったことから、収支率が改善した。

	運賃収入額	収支率	乗車人員
R4	11,330千円	14.6%	74,317人
R5	11,826千円	15.2%	76,715人
R6	12,216千円	15.6%	75,705人
R7	12,168千円	17.2%	76,163人



評価・次年度に向けた課題や取り組み

- ・引き続き「おでかけ元気パス事業」などの施策を継続するとともに、第2次東員町地域公共交通計画に実施事業として掲げている「停留所環境の整備」や「キャッシュレス決済導入」を進め、利便性の向上及び利用者の増加を図る。また、生活交通を考える会において、公共交通の利用促進に資する取り組みを継続する。

主な事業実施状況と評価②

【基本目標1-1】鉄道の維持・活性化／【基本目標2-1】交通結節点の利便性向上

- ・北勢線の利用者数は昨年度と比べ1.3%増(コロナ以前の数値までは戻っていないものの、4年連続で増加)
- ・利用者別においては、通勤1.3%減、通学2.2%増、定期外2.3%増であった
- ・東員駅の乗車人員は昨年度に比べ3.5%増(穴太駅、北勢中央公園口駅も増加)

	北勢線の利用者数
R4	2,084,178人
R5	2,150,364人
R6	2,204,941人
R7	2,234,586人

	東員駅の乗車人員
R4	155,584人
R5	168,338人
R6	169,464人
R7	175,319人

(三重テラスでのイベント)



(東員Walker)



評価・次年度に向けた課題や取り組み

- ・サンタ電車や親子ツアーズ、謎解き旅などのイベント事業を実施。また、町情報誌(東員Walker)への記事掲載や、東京で行われたイベントでの啓発及び物品販売を実施し、北勢線を広く啓発した。
- ・次年度も利用促進、啓発活動を続け、北勢線のさらなる利用増を図る。

主な事業実施状況と評価③

【基本目標4-1】外出支援

- ・おでかけ元気パスの利用者数は2,011人増加(9.6%増)
- ・高齢化に伴う所有者の増加や、制度が定着してきたことで利用者が増えたと考察

	おでかけ元気パスの 利用者数	増減	【参考】75歳以上人口 (3月末時点)	増減
R4	17,496人		3,835人	
R5	20,165人	+2,669人	4,185人	+350人
R6	20,994人	+829人	4,455人	+270人
R7	23,005人	+2,011人	4,681人	+226人



評価・次年度に向けた課題や取り組み

- ・次年度も引き続き、高齢者が公共交通を利用して移動ができる環境づくりのため、おでかけ元気パス事業を実施する。

主な事業実施状況と評価④

【基本目標4-2】公共交通の魅力発信

- ・町内イベントにおいて公共交通の啓発活動を実施
(10/5 とういんわくわくフェスタ、10/25 TOINマルシェ)
- ・オレンジバス車内のデジタルサイネージで、ぬりえのデジタル展示を実施
(計131作品を展示)
- ・展示期間中に使用できる無料乗車券をイベント時に配布
(利用枚数:7枚)
- ・北勢線のサンタ電車のイベントに合わせオレンジバスの無料乗車券を配布
(利用枚数:南北線29枚、東部線10枚)
- ・選挙時の移動支援として無料乗車券を配布
(利用枚数:82枚) ※7/20 参議院選、9/7 県知事選、2/8 衆議院選

(TOINマルシェ)



評価・次年度に向けた課題や取り組み

- ・次年度も引き続き、利用促進に資する活動を実施していく。